



2001年

11

月号

平成13年10月25日発行

ボランティア国際年



2001

2001年は ボランティア国際年です

みえ協賛事業募集!

2001年にボランティアに関する事業を計画されている団体のみなさん、ボランティア国際年みえ協賛事業として、みえ推進協議会に登録をお願いできませんか。

2001年1月から12月の間に取り組みされるボランティア事業で「ボランティア国際年」にふさわしいものであればOKです。

みえ推進協議会もその事業の情報発信のお手伝いをさせていただきます。事業内容のわかる資料を添えて事務局までご提出ください。

●問い合わせ先/2001年ボランティア国際年みえ推進協議会
514-0009 津市羽所町700 アスト津3F 三重県ボランティアセンター内

Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635

E-mail mvc@miewel.or.jp

ホームページ <http://www.mienpo.net/iyv2001/>



ボランティア国際年のマスコットキャラクターです。



三重県内各地で次々に生まれつつある
市民活動支援センターや地域の市民活動ネットワークを紹介するコーナーです。

市民情報ネットワーク すずかのぶどう

鈴鹿市

鈴鹿地域の市民活動の横の連携をとる役目を果たすのが目的です。そのためには、まず情報の交換が行いやすい環境が必要です。メーリングリスト、ニュースレター、いずれはホームページを立ちあげて、「鈴鹿地域の市民活動のことは、すずかのぶどうに聞けば分かる」といわれるような組織にしたいと思っています。

●連絡先/513-0822 鈴鹿市末広町5517-4 (井田宅)

●活動状況/メーリングリストによる会員の相互の意見交換、交流会(毎月第3火曜日19:30~21:00)の開催、ニュースレター(毎月1日)の発行

【ニュース!】

9月27日、近鉄白子駅前に市民情報ネットワーク「情報雑貨店」がオープンしました。「情報雑貨店」は、すずかのぶどうによる民設民営の市民活動を支援する機能を持つフリースペースです。交流サロン・会合・情報交換・イベント・活動拠点etc、市民グループの皆様には、どのようにもお使いいただけます。気軽にお寄りいただけるスペース作りのアイデアを募集しています。まずは、お越しください。

●所在地/510-0241 鈴鹿市白子駅前17番13号

白子駅前センター商店街振興組合「ホット ほっと サロン」内

●Tel./0593-87-0767 ●Fax./0593-87-0767 ●E-mail/budou@mecha.ne.jp

●周辺の状況/近鉄白子駅より30m、サンズさんの駐車場をご利用いただけます。



◆発行◆

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981・5982・

5983

Fax.059-222-5971

E-mail open@mienpo.net

県NPO担当ホームページ

<http://www.mienpo.net/>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

●申込・問い合わせ先/NPOバリアフリースタジオ「同夢」
Tel.0595-23-9513 Fax.0595-23-9513
E-mail son@aqua.ocn.ne.jp

紅葉の美杉・伊勢本街道散策

～北畠氏ゆかりの山里へ～

●とき・ところ/11月21日(水)集合場所 三重県津庁舎AM8:30・近鉄津駅前AM8:45・三重県久居庁舎AM9:15
※希望の集合場所をお選びください

●参加費/1500円(入館料、弁当代) ●募集人数/35人
●内容/約6Kmの行程で、美杉ふるさと資料館、北畠神社などをめぐります。

●応募締切/11月8日(水)PM5:00必着

●申込方法/参加者全員の名前、住所、電話番号と希望の集合場所を記入し、Fax、ハガキ、E-mailで申込み。1枚で4人まで申込みます。申込多数の場合は抽選し、11月14日までに連絡します。

●主催・申込・問い合わせ先/514-0003 津市桜橋3丁目446-34 みえ歴史街道構想津安芸久居一志地域推進協議会事務局 Tel.059-223-5081 Fax.059-246-7866

E-mail tseikan@pref.mie.jp

●共催/美杉村、三重県

パートナーシップでまちづくり

「第8回地域づくり仕事人交流会」& 「第6回まちづくりコレクション01」

●とき/11月23日(祝)AM10:00～

●ところ/津センターパレス(津市大門)

●参加費/基調講演・分科会は無料 ●応募締切/11月12日(月)

●内容/県内各地でまちづくり・地域づくりに取り組んでいる人、関心を持っている人が集まって、地域づくりについて情報交換をしたり、みんなで楽しく考える交流会を“みえ地域づくり団体交流会”と“津市民ネットワーク”の共催で開催します。基調講演の講師は市民・行政・企業のパートナーシップを基本に、富士山からのわき水の水環境保全を通じてまちづくりに取り組んでいるNPO法人グラウンドワーク三島さんです。その他、津の街中ウォークやティーパーティなども行います。なお、分科会では「トイレ」「活動団体の裏方さん」「岩田川」をテーマに取り上げます。みんなでわいわいと交流し、地域づくりの輪を広げましょう。

●申込方法/指定の申込書を郵送またはFaxで送ってください。当日参加もOKですが、なるべく事前に申し込んでください。

●申込・問い合わせ先/次のいずれかへ申し込んでください。

津市広明町13番地三重県地域振興課内 みえ地域づくり団体交流会事務局 Tel.059-224-2420 Fax.059-224-2418
津市大門7-15 津市市民活動センター Tel.059-213-7200 Fax.059-213-5550

●主催/みえ地域づくり団体交流会、津市民ネットワーク

身近な自然を体験する県民デー「森の感謝祭」

●とき/11月23日(祝)AM9:30～PM2:30(雨天時24日)

●ところ/久居市明神町の里山 ●参加費/無料

●内容/里山の散策やクラブなどで遊ぶほか、ピザ・焼き芋などをつくります。

●持ち物/弁当、水筒、お椀、箸、ハイキングに適した服装

●主催・申込・問い合わせ先/三重の里山を考える会(東) Tel.059-237-4912

※連絡はできるだけPM8:00～PM9:00の間をお願いします。

浜の魅力にハマるひととき

白砂青松の白塚の浜へようこそ

～砂浜にふれよう・感じよう～

●とき/11月25日(日)AM10:00～PM1:30

●ところ/津市白塚町新町 海岸グラウンド集合～津市白塚海岸(雨天中止) ●参加費/無料 ●募集人数/最大30人

●内容/今秋は穴掘りの達人前出健太郎(三重大生物資源学部大学院生)さんの指導で、1. みんなで作る海の家～砂浜を掘ってみよう 2. 浜辺でクッキング～鯛めしと浜鍋 3. 浜辺で真水を確保せよ～無人島サバイバル体験～(体力がある方が多ければ) 4. みんなで楽しむ浜辺の食事などを行います。砂浜がどんどん減っている中、今回の行事ができる広い海岸はごくわずかになっています。いろんな生き物が生息している様子も紹介します。

●持ち物/米(大人1合、小人半合)、はし、茶わん、お椀、お茶など

●主催・申込・問い合わせ先/白塚ウミガメクラブ事務局(森下)

Tel.059-228-2994

白塚の浜を愛する会(代表:西口) Tel.059-231-7110

●後援/三重環境県民会議(身近な自然を体験する県民デー参加行事)

サ・MIEF TRY-アスロン

●とき/12月1日(土)AM10:00～PM3:00

●ところ/アスト津3階 みえ県民交流センター「交流スペース」

●参加費/無料

●内容/これは普通のトライアスロンではありません。泳がず、自転車にも乗らず、走らない「TRY-アスロン」イベントです。「レースコース」をたどりながらボランティア・ブースを訪れ、日本の伝統的な文化を色々体験しましょう!コースは第1区間・ボランティア通り、第2区間・カルチャーコーナー、第3区間・国際交流交差点となっています。日本人も、外国人も、皆がMIEFの「TRY-アスロン選手」になり知り合いの輪を広げながら、ゴールまで、ファイト!!当日は英語、中国語、ポルトガル語の通訳がいます。

●主催・問い合わせ/(財)三重県国際交流財団 津市羽所町700アスト津3階 Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp

「センス・オブ・ワンダー」津上映会

●とき/12月1日(土)PM1:00～

●ところ/津リージョンプラザ・お城ホール

●参加費/前売500円 当日700円(中学生以上)

●内容/アメリカの海洋学者であったレイチェル・カーソンの著作を元にした朗読ドキュメンタリー映画です。当日は託児も行います。料金は1人300円、11月23日までに申し込んでください。

●申込・問い合わせ先/伊藤 Tel.059-227-5013

雨宮 Tel.059-230-2788

ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~amemiya/>

●主催/「センス・オブ・ワンダー」津上映実行委員会

クリスマスをあの人の“そば”で!

「お見合い交流会♡美杉」開催!!

●とき/12月8日(土)PM1:00～9日(日)

●ところ/ふれあいプラザ竹原～村営宿泊施設レークサイド君ヶ野

●参加費/3000円(宿泊及び食事代など)

●内容/「美杉村村づくり仕掛人チーム」お見合い企画第5弾。結婚を考えている村内及び近隣在住在勤の独身女性(20才以上)はぜひ、参加を。今回は村内の男性と一緒にそば打ちを行います。

●募集人数/女性30人 ●応募締切/11月19日(月)

●申込・問い合わせ先／515-3421 一志郡美杉村八知5828-1 村づくり仕掛人チーム事務局 美杉村産業振興課(担当:三宅) Tel.059-272-8085 Fax.059-272-0439 E-mail mi014@mcs.misugi.mie.jp
●主催／美杉村村づくり仕掛人チーム、美杉村

平成13年度みえ県民文化祭圏域フェスティバル飯南・多気・松阪地区大会

〈演劇駅伝II〉—舞台でつなぐ心の絆(たすき)—

●とき・ところ／【松阪コミュニティ文化センター】12月9日(日)開場AM11:30 開演正午 出演…劇団ほてい葵(勢和村)、ミュージカル・キッズ(多気)、劇団白つばき(多気)

【飯南町産業文化センター】12月16日(日)開場PM12:30 開演1:00 出演…宮川演劇倶楽部(宮川村)、ダイコン一座(松阪)、ミュージカル・キッズ(多気)

【多気町民文化会館】12月23日(日) 出演…三重高校(松阪)、いちばん星の会(松阪)、中部中学校(松阪)

●参加費／無料。ただし、入場整理券が必要です。

●内容／飯南・多気・松阪地区の劇団が集まって「演劇駅伝II」を開催し、元気いっぱい地域づくりに取り組みます。子どもたちのミュージカルや中学・高校生の演劇・ふるさと歴史、人権や障害者をテーマにした作品などいろいろな演劇を楽しんでいただけます。

●問い合わせ先／
松阪地方県民局生活環境部

Tel.0598-50-0504

ホームページ <http://www.mactv.ne.jp/~sakato/>

●主催／第7回みえ県民文化祭圏域フェスティバル 飯南・多気・松阪地区大会「演劇駅伝II」実行委員会



元気いっぱい、子どもたちのミュージカル。

ボランティア国際年記念事業

ボランティアを考えるワークショップ

～つなげよう!ひろげよう!『ボランティア・ネットワーク』～

●とき／12月15日(土) AM10:00～PM4:00

●ところ／本町プラザ1階ホール(四日市市本町9-8)

●参加費／無料 ●定員／60人(定員になり次第締切)

●内容／ワークワークショップを通じてボランティアの魅力を再発見。ボランティアしてる人、ボランティアしたい人、いろいろな人に出会いたい人、これから何かを始めたい人…。分野や地域を超えた「ひと」との交流を通して、私とボランティアとの関係、私と地域との関係、私と「ひと」との関係をみつけましょう!講師は聖泉短期大学介護福祉学科講師、生涯学習研究所SOUP代表の山本克彦さんです。

●主催・申込・問合せ先／510-8511 四日市市新正4丁目21-5 北勢県民局生活環境部 Tel.0593-52-0763

Fax.0593-52-0765

ネットワークのよびかけ

サンフランシスコNPO 継続インターンシップ第2次生参加者募集

米国のNPO法人「日本太平洋資料ネットワーク(JPRN)」は、2001年秋から「サンフランシスコNPO継続インターンシップ・プログラム」を実施します。サンフランシスコ周辺にある5つのNPOに、日本から2か月あまりインターンを4回継続して派遣、NPO運営やNPOが扱う問題への理解を深めていただくものです。また、それぞれのインターンシップ期間中に、現地でパブリック・プログラムを開催し、プログラムの企画、運営について実践的に学んでいただきます。

す。現在、このプログラムの第2次生の参加者を募集しています。参加費は24万8000円(滞在費、プログラム費のみ、渡航費や食費は別)です。詳細は下記のホームページまたはE-mailでお問い合わせください。

●問い合わせ先／E-mail jprn@igc.apc.org

ホームページ <http://www.jprn.org>

大仏山公園スプリングフェスティバル

県民の皆様やNPOの方々との協働で行えるイベントを行います。ぜひ、ご参加ください。

●とき／平成14年3月9日(土) ●ところ／大仏山公園

●応募方法／平成13年11月30日(金)までに下記へ連絡。

●問い合わせ先／南勢志摩県民局伊勢建設部企画調査グループ(担当:水守) Tel.0596-27-5223

E-mail nkenset@pref.mie.jp

(社)三重県緑化推進協会 大仏山公園管理事務所

Tel.0596-23-6565

フリーマーケット情報

【Aコープ津店駐車場】(津インター近く)

●11月11日(日)AM9:00～PM2:00(雨天中止)

出店料1ブース500円

※出店料は「日本赤十字社」に寄付されます。

●問い合わせ先／Aコープ津店(店長:阪井) Tel.059-225-9131

【中勢フリーマーケット協会の予定】

●11月18日(日)AM9:30～PM3:30

「中部台運動公園」会員1300円・一般1800円

●12月9・16日(日)AM9:30～PM3:30

「弁天山公園」会員1300円・一般1800円

●申込方法／出店、会員申込とも、直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。参加費等詳しくはお問い合わせください。

中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921

●問い合わせ先／安芸郡河芸町2434-5 中勢マーケット協会Fax.059-245-2536 Tel.(携帯)090-7027-4334

『平成13年度会員募集』

新規会員は入会金1000円と年会費1500円を振り込んでください。更新会員は年会費のみ。

みなさんへのお知らせ

【NPO担当から】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は1団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1)名称、(2)申請年月日、(3)代表者の氏名、(4)法人の事務所の所在地、(5)縦覧期間、(6)認証の種類、(7)定款に記載された目的。

【103】

(1)特定非営利活動法人トーゴ国際開発友聖会 (2)平成13年7月27日
(3)西依友騎子 (4)桑名市中央町五丁目38番地グランドメゾン桑名番館207号 (5)平成13年9月27日まで (6)設立

(7)この法人は、豊富な経験を有する会員の協力により、トーゴ共和国(西アフリカ)の生活向上、国の発展のために、助言又は支援、協力を、学校・病院施設の建設、及び生活用品、医療品等の寄附を行い、国際協力の増進に寄与することを目的とする。

【104】

(1)特定非営利活動法人三重国連支援交流協会 (2)平成13年8月14日

(3) 水谷欣司 (4) 桑名郡長島町大字押付54番地
(5) 平成13年10月14日まで (6) 設立
(7) この法人は、三重県を中心とする地域において、発展途上国に対しての国連活動を支援する事業を行い、平和、福祉、安全、環境保全、人権などの国際規模での諸問題解決を目的とし、国際相互理解の促進に貢献し、国際協力などの公益増進に寄与することを目的とする。

【105】

(1) 特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会
(2) 平成13年9月13日 (3) 中村元 (4) 伊勢市黒瀬町1323番地4
(5) 平成13年11月13日まで (6) 設立
(7) この法人は、伊勢志摩地域の市民活動団体の相互連携と協力のもと、個々の団体と行政・住民をつなぎ情報を共有しながら、市民活動団体の能力及び社会的なイメージを高め、地域における市民活動を活性化させるため、市民活動に関する各種事業を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【106】

(1) 体験ひろばこどもスペース四日市 (2) 平成13年9月21日
(3) 水谷孝子 (4) 四日市市市川八丁目43番地2
(5) 平成13年11月21日まで (6) 設立
(7) この法人は、子どもたちが全人的に成長するために、文化芸術体験を始め、さまざまな体験ができる機会を創り、また環境を整え、子どもたちが、「たった一度しかない子ども時代」を豊かに過ごすことに寄与することを目的とする。

【107】

(1) 特定非営利活動法人日本文化コミュニケーションサークル
(2) 平成13年9月25日 (3) 一之瀬千賀子
(4) 四日市市波木町1970番地14 (5) 平成13年11月25日まで (6) 設立
(7) この法人は、日本文化を通して異文化とのコミュニケーションを図るため、日本文化と異文化、国際交流、日本語学校に関する事業を行い、国際交流団体及び行政組織や企業と新たなパートナーシップを築くことを通して、市民による開かれた公共社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【108】

(1) 特定非営利活動法人ひだまり (2) 平成13年10月1日 (3) 西川高江
(4) 伊勢市勢田町432番地4 (5) 平成13年12月1日まで (6) 設立
(7) この法人は、伊勢市内及びその周辺市町村の高齢者に対して、ディサービス、ショートステイ、訪問介護に関する事業を行い、もって地域の福祉の増進に寄与することを目的とする。(平成13年9月14日から平成13年10月15日受付分)

● 成立した法人

()内は登記年月日です。主たる事務所の所在地及び定款記載の目的等については、ホームページ<http://www.mienpo.net/houjin/ichiran-mie.htm>をご覧ください。

- 特定非営利活動法人菟野を良くする会(平成13年4月2日)
 - 特定非営利活動法人志摩フィールドキャンパス21(平成13年4月2日)
 - 特定非営利活動法人居宅介護支援カタヤマ(平成13年4月2日)
 - 特定非営利活動法人うえの託児所ドリーム(平成13年4月6日)
 - 特定非営利活動法人地域づくり考房みなと(平成13年4月24日)
 - 特定非営利活動法人家庭危機管理・ひまわりの仲間たち(平成13年5月8日)
 - 特定非営利活動法人NPOネットワークinポルタ(平成13年5月24日)
 - 特定非営利活動法人桃太郎会日本(平成13年6月25日)
 - 特定非営利活動法人エス・サプライ(平成13年7月2日)
 - 特定非営利活動法人花里(平成13年8月10日)
 - 特定非営利活動法人三重県高齢者・退職者事業団(平成13年8月3日)
 - 特定非営利活動法人三重県トイレ協会(平成13年8月8日)
 - 特定非営利活動法人eco-net 伊勢志摩(平成13年8月2日)
 - 特定非営利活動法人ふれあいステーション都美恵(平成13年8月16日)
- (平成13年4月17日から平成13年10月15日登記完了届出分)

鍵付きロッカー、メールボックス利用の申込受付のお知らせ
現在、みえ市民活動ボランティアセンター内にある、鍵付きロッカー、メールボックスを多くの団体の方にご利用いただいております。この利用期限が近づいてまいりましたので、来年度の受付をいたします。活動のお役に立ててください。

【現在、鍵付きロッカー、メールボックスをご利用のみなさまへ】
更新の時期が近づいてまいりました。来年も利用を希望される方は、下記期間内にもう一度、申込用紙を提出してください。来年の利用を希望されない方、抽選で漏れた方は、12月22日(土)までに、

ロッカー、メールボックス内の物品をお持ち帰りください。

【新規に利用を申し込まれる方へ】

所定の用紙に必要事項をご記入のうえ、みえ市民活動ボランティアセンターまでご提出ください。

- 申込受付期間／11月1日(木)～11月20日(火)(必着)
- 利用期間／平成14年1月4日～平成14年12月28日
- その他／応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。申込用紙はみえ市民活動ボランティアセンターにありますので受付に声をかけてください。ご希望の方には郵送、FAXでもお送りできますが、郵送料はご負担くださるようお願いいたします。受付期間を過ぎた後でも空きがありましたら、随時、利用申し込みを受け付けております。その際は先着順となります。利用者が決定次第、それぞれロッカー、メールボックスの番号とともにご連絡いたします。ロッカー、メールボックスの利用につきましては無料ですが、鍵の破損など明らかに利用者に責任がある場合は原状復帰をお願いいたします。
- 申し込み・問い合わせ先／514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
ホームページ <http://www.mienpo.net/>

県民のみなさんへ 県庁舎の会議室を休日・夜間に開放します。
三重県北勢県民局では、行政サービスの住民満足度の向上をめざして、平成13年11月より、管内にある3つの県庁舎(桑名庁舎・四日市庁舎・鈴鹿庁舎)の会議室の一部を、夜間及び休日に、県民のみなさんのために、有料で、貸し出します。

● 貸し出しする日時／休日(土曜・日曜日、祝日)午前9時～12時、午後1時から5時、6時～10時

平日(月曜日から金曜日)午後6時～午後10時

(ただし、12月29日～1月3日は貸し出しできません。)

● 貸し出しする会議室の種類／【桑名庁舎】附属棟第2会議室(66㎡・定員48人・冷暖房設備あり)、附属棟第3会議室(33㎡・定員18人・冷暖房設備あり)、附属棟第4会議室(69㎡・定員49人・冷暖房設備あり)

【四日市庁舎】附属棟101会議室(106㎡点定員70人・冷暖房設備あり)、附属棟102会議室(38㎡・定員20人・冷暖房設備なし)

【鈴鹿庁舎】1階11会議室(41㎡・定員30人・冷暖房設備なし)

● ご利用できる方／三重県内に住所を有する市民、団体。政治活動、宗教活動、営業活動など(物品の販売等や学習塾等指導者が月謝を徴収するような場合など)は利用できません。

● 手続き／1.各庁舎担当まで、電話で予約。予約は、使用したい日の属する月の前月の初日(土・日・祝日の場合は次の開庁日)から受付を開始。受付時間は、開庁日のAM8:30～PM5:00。

2.予約後、各庁舎の企画調整部にある申請書用紙に記入のうえ、提出。内容確認後、使用許可書及び使用料納入通知書を発行(送付)。
3.使用料の支払は、納期限までに金融機関へ払い込むか、企画調整部にて現金にて。

● 問い合わせ先／【桑名庁舎】511-8567 桑名市中央町5丁目71 北勢県民局企画調整部 桑名企画総務グループ
Tel.0594-24-3600

【四日市庁舎】510-8511 四日市市新正4丁目21-5 北勢県民局企画調整部 総務グループ Tel.0593-52-0555

【鈴鹿庁舎】513-0809 鈴鹿市西条5丁目117 北勢県民局企画調整部 鈴鹿企画総務グループ Tel.0593-82-9785

助成金 ニュース

WWF Japan 自然保護助成

- 受付締切／11月30日(金)
- 助成の対象となる団体・個人／日本国内で自然保護活動を行っている団体・個人。WWF会員が活動に参加していることが望ましい。

助成の対象となる活動 / 自然保護のための調査研究・普及教育・保護活動など。それぞれの活動は具体的な成果が得られる可能性のあるもの。私営営利を目的としたものは対象外。2002年度は「里山地域」「干潟」「サンゴ礁」「南西諸島」の4分野をテーマとし、重点を置きます。これ以外のものは「一般」部門に応募してください。

助成の額 / 30万円、60万円、100万円のなかから選択。

応募方法 / 申請書を下記まで請求するか、パソコンなどで同様式を作成してください。用紙サイズはA4限定。

問い合わせ先 / (財)世界自然保護基金日本委員会 (担当:権田・草刈) 105-0014 東京都港区芝3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6階 Tel.03-3769-1772 Fax.03-3769-1717 E-mail masayuki@wwf.or.jp ホームページ http://www.wwf.or.jp/

ルーセント・テクノロジー I Y F 青少年育成基金

受付締切 / 11月30日(金) 必着

助成の対象となる活動 / 1、青少年が参画し、学校の各種状況や生活環境を改善・改革を目指した活動などを促進し、さらなる学習・生活環境の向上を支援します。

2、教員の研修を通じ、学校内のさまざまな課題に対し、よりよい対処法や新たな実践を模索するなど、意識の革新や問題対処能力の向上などを旨とする事業を支援し、ひいては青少年の学校生活・学習環境の改善を目指します。3、自分に適した学習・成長の場と、その機会を「選択」することが、社会的に広がりを持つようになることを期待し、具体的な選択肢の拡充のため、オルタナティブ教育分野の活動を支援します。

ここでいうオルタナティブ教育とは「居場所」「フリースクール」(不登校児童・生徒を対象としたものを含む)など、年間を通じ、青少年と継続的な関係を持ちうる事業を指します。

問い合わせ先 / 国際青少年育成財団日本事務局 (IYFジャパン) 内「ルーセント・テクノロジーIYF青少年育成基金」事務局 (担当:村上) 108-0074 東京都港区高輪4-10-63-302 Tel.03-3440-3373 Fax.03-3440-4447 E-mail mmijfjpn@gol.com

(社福)新日本友の会 身体障害者及び知的障害者に関する事業に対する助成

受付締切 / 毎年11月末日

助成の対象となる活動・団体 / 身体障害者及び知的障害者の福祉に関する事業を直接営む団体(法人でなくてもよいが、個人は不可)なお、公的援助が少なく、少額の援助でも有効に活用しうる比較的小規模な団体を重点的に助成し、原則として同一団体への継続助成は行いません。

応募方法 / 助成申込に当っては必ず事前に連絡の上、「助成金申込書」に従い申込書を取りまとめ、申込むこと。

問い合わせ先 / (社福)新日本友の会 108-8005 東京都港区港南一丁目8番15号Wビル17F Tel.03-5495-2784 Fax.03-5495-2785

(社)日本河川協会 日本水大賞

受付締切 / 11月30日(金)

対象となる団体 / 水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動を行っている学校、企業、団体、個人、行政。個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

対象となる活動 / 水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動(研究、技術開発を含む)を対象とします。

- (1) 水環境...川や湖沼、海などの水をきれいにする。水辺の生き物やそのすみかを大切にす。水辺や水のある地域づくり。
- (2) 水資源...水を大切にす。山や川などの水源地を大切にす。異常洪水のときに被害を少なくす。
- (3) 水文化...水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める。水や川や湖沼、海などの文化を創ったり広めたりす(芸術、文学を含みます)における水文化を発掘したり普及す。
- (4) 水防災...水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する(ハイテク機器、文化財、ライフライン等を水災害から守る)、雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す。河川の伝統的技術や災害体験の継承等啓発・普及。その他、上記に関する国際的な連携・技術協力・学会活動

各賞 / 大賞【グランプリ】副賞100万円) 大臣賞(副賞50万円) 市民活動賞【読売新聞社賞】副賞30万円) 国際貢献賞(副賞30万円) 奨励賞(副賞10万円) 青少年研究活動賞【ストックホルム・ジュニア・ウォーター・プライズ国内選考】副賞国際コンテストへの参加費用)

応募方法 / 申請用紙に所要事項をご記入の上、事務局に直接持参、郵送、またはE-mailの添付ファイルとして送付により応募してください。なお、申請用紙は次のいずれかの方法で取り寄せてください。(1)直接事務局まで来訪(2)切手(160円)を貼り送付先を記入した返信用の封筒(A4版の入る封筒)を同封し、郵送にて申込み(3)ホームページからダウンロード

問い合わせ先 / (社)日本河川協会 担当:梶谷1、館澤、紀陸 平日9:15~17:30)102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3階 Tel.03-3238-9771 Fax.03-3288-2426

E-mail taisyo@japanriver.or.jp
ホームページ http://www.japanriver.or.jp/taisyo/index.htm

国際交流基金アジアセンター公募事業

受付締切 / 12月3日(月)

助成の対象となる団体 / 下記の各国・地域のいずれかに所在する非営利団体(大学、研究所、図書館、資料館、美術館、博物館、非営利公益団体、NGO/NPOなど)とし、個人に対する助成は行いません。

(1)東アジア地域...韓国、中国、モンゴル(2)東南アジア地域...インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス(3)南アジア地域...インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルジブ(4)日本...国の機関及び特殊法人などの政府関係機関は対象になりません。ただし、学術研究グループなどは対象となります。

助成の対象となる活動 / 共同研究・調査、ワークショップ、会議、研修、記録保存、活字・映像媒体による研究成果の発表・出版などが対象となります。特に重要と考えるのは以下の分野です。

(1)多様性の理解と共生に資する取組み...(例)東南アジアによる東南アジア地域研究振興プログラム、地域社会構築のためのボランティアとNPOの役割に関する国際会議、中国とインドによる社会変容の比較研究対話事業、アジアの知識のグローバルな流通を目指す他言語雑誌の発行

(2)域内共通課題解決のための取組み...(例)環境教育のための教材開発に関するワークショップ、アジア太平洋地域における人権と移民に関する地域住民・政策決定者・学界を巻き込んだ政策協議、特定分野の共通課題解決のためにアジアの財団が協力関係構築を目指す会議、インターネット普及が北東アジアの情報通信および経済協力に及ぼす影響の研究、紛争後の社会の再構築と市民社会の役割。

(3)社会の平等と開放に資する取組み...(例)メディアを通じてアジアの女性の社会参画機会を促進するための会議、法整備に関する政策決定者と法律家の国際セミナー、旧インドシナ諸国における法曹養成基礎教育の共同研究。

(4)有形・無形の文化の保存、記録、公開に関する取組み...(例)文化財発掘・保護専門家養成事業、東南アジアの先住少数民族の口承文学・民話・伝統音楽の記録、地域住民の研修を組み込んだ地域博物館設立へのパイロット事業。

(5)伝統文化を現代に生かすための取組み...(例)アジアの民族音楽教育に関する国際ワークショップ、持続可能な手工芸品生産とフェアトレードに関する会議、伝統演劇技法を通じた表現の国際研修プログラム。

対象事業の期間 / 平成14年4月~平成15年3月

応募方法 / 申請のためのガイドラインは下記へ請求。

問い合わせ先 / 国際交流基金アジアセンター知的交流課 107-0052 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー1階 Tel.03-5562-3891 Fax.03-5562-3898

国際交流基金日米センターNPOフェロシップ

受付締切 / 12月11日(火) 必着

事業の目的 / 日米間の架け橋になり国際的に活躍できる次世代の担い手(人材)を育成するとともに、日本の非営利セクターの基盤強化を図ることを目的として、日本の非営利セクターに従事している中堅層の方に、米国のNPOでの中長期のマネジメント実務研修を行う機会を提供するものです。

応募資格 / (1)日本国籍を有する方、もしくは日本に長期にわたる活動拠点を有する方。(2)日本国内のNPOで働く中堅層で、NPOにおける2年以上の活動経験及び当該分野に関する体験的知識を有すること、または、これに準じる知識、経験を有すること。(3)米国で研修を行う上で支障のない語学力を有する者。

研修テーマ / 人材基盤、資金基盤、情報基盤など、NPOマネジメントに関するテーマを、フェローが自分の関心に応じて設定します。

研修期間 / 原則は応募翌年9月~11月の間に開始し、半年から1年。

支給内容 / 準備費、滞在費、往復航空賃、住居費、研修補助費など。

応募方法 / 規定の書類を提出の後、面接

問い合わせ先日本NPOセンター(担当/新田英理子) 150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-11-11-104 Tel.03-5459-8877 Fax.03-5459-7747 E-mail enitta@jnpoc.ne.jp

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。「すずかぜ」のメンバー、澤内喜代子さんがバトンをタッチしたのは、北京で開催された第4回世界女性会議で期間中、ルームメイトとして過ごした渡辺照子さんです。

義父の介護をきっかけにボランティアを開始

……渡辺さんは元々、鈴鹿の方なのですか？

鈴鹿出身の転勤族です。こちらには十数年前に戻ってきました。義父が高齢で、寝たきりに近い状態になりかかっていたんです。それから8年間、義妹たちとローテーションを組んで、義父を介護しました。その中で、家族で介護することの大変さを感じたのです。また、今後は介護に対して公的支援を行っていくという風潮でしたので、鈴鹿ではどのように支援をしているのだらうと思って、介護の合間に鈴鹿市社会福祉協議会へ勉強を兼ねて出掛けていきました。

……具体的にボランティアを始められたのは？

特別養護老人ホームである聖十字の家では入浴ボランティアが行われています。義父はこの日をとても楽しみにしていてカレンダーに丸印をつけていたくらい。私は家族として付き添ったんですが、その時にメンバーが全てボランティアだという話を聞き、驚いたのです。だって、下の世話から何から、すべて職員さんと同じように違和感なく作業されているんですよ。それで、私も義父の介護ローテーションから抜ける日には、そこでお手伝いさせていただきました。

……家族の介護とボランティア活動。両立は大変では？

ボランティアを始めたことは、私にとっても、義父にとっても良かったと思います。必死になって介護しなければ…と思い帰っては来ましたが、勇みがちな気持ちをボランティア活動が和らげてくれて、もちろん、技術面や情報面でも介護に役立ちました。例えば、鈴鹿市のサービスを知ったこと。当時、おむつやベッド、車いすなど市からの貸与サービスを利用していました。もし、そのことを知らなければ、私は長年おむつ洗いに専念したと思うんです。そんな便利なサービスですが、現在介護をされている方のなかにも知らないという方がたくさんいるんですよ。行政の方でも家庭で介護をされている方を把握して、きめ細かく情報を提供してくださると嬉しいですね。

「はなの会」「いこいの家“麦”」



渡辺照子 さんに 聞く

……ボランティアを受ける側から、ボランティアを提供する側へ自然に移られたのですね。

義父を看取った後、自由な時間は何か私にもできることは…と思い、まずは聖十字の家。その後、「八野ワークセンター」という、障害者施設に関わるようになりました。ここではいろいろな仕事をしてい

るのですが、納期が迫ってくると人手がいるでしょう。そういう時にボランティアが加わって作業をしたり、バザーなどは仲間と一緒にいつも関わらせていただきました。

3人の方へのお弁当から始まった「はなの会」

……給食サービスのボランティアもされているとか？

「はなの会」と言うグループで毎週土曜日、お弁当を30食ほど配達しています。個人的にお弁当の配達を始めたのは8年ほど前ですが、はなの会になったのは4年前。お弁当の料金は600円。スタッフ14名は全員、無償です。当初は身近な地区だけでしたが、クチコミで広がり、今は遠くの方まで配達しています。

……始めるきっかけは？

聖十字の家の活動を通じて知り合った方が高齢の一人住まいで食生活に困っているという話を聞いたのです。それで仲間と一緒に土曜日だけですが、お弁当を持っていくようになったのです。自分の家でも食事の用意をしますから、手間は一緒ですからね。続けるうちに2人の方から「うちにも…」という話が出て、合計3軒に4年ほど、友だちと二人でお弁当を届けていました。

……それは毎週ですか？

はい。料金はもちろん無料…というか、自分の家のおかずを持っていくだけです。たいしたことはありません。毎週土曜日にその活動を続けていたら、何人かの友人が「食に関することなら手伝えるよ」とお手伝いしてくれて、徐々に仲間が増えていきました。メンバーが増えるのと同時に、食に困っている方の情報も増えていったんです。最初は高齢の方だけでしたが、障害を持った方にも広がっていきました。そして現在、30食ほどお届けしています。

……8年も続けるのは大変でしょう？

「大変ですね」という言葉を時々かけていただきますが、楽しみに待ってくださっている方がいることをわかっていますから。今のお弁当の数を減らさないで、なるべく値段を上げず、そしてなにより継続することが基本です。この他にも月1回、「いきいきサロン」というデイサービスのようなこともしています。高齢の方が10名くらい集まって、スタッフと食事をしたり、小物作りや音楽を楽しんでいます。「この日をとても楽しみにしています。もっと回数を増やして欲しいわ」と利用される方に言われるくらい、地域に密着しているんですよ。

安心といこいを提供する場“麦”

……今年になって新たな活動を始められたそうですね？

5月17日、鈴鹿市中旭ヶ丘にいこいの家“麦”というスペースをオープンすることができました。毎週、月曜日と木曜日のAM10:00～PM4:00の間、開けています。週2回と言うと少ないようですが、13人ほどいるスタッフが主婦ばかりなので無理せず、長続きできることを考えました。ただ、これだと授産施設などで働いている方は来られませんので月1回、第3日曜日にもオープンしています。

……どういった場所なのでしょう？

コーヒーや紅茶、手作りケーキが味わえる喫茶のスペースの他に、鈴鹿市内5つの障害者施設で作っている品物を展示販売しているコーナーやボランティアの情報を伝えるチラシなども置いてありま

す。元々は、高齢者や障害を持つ方が気軽にお茶を飲んだり、食事できる場所を作りたいと思って始めました。また、その一方でボランティアの拠点として、鈴鹿市の情報をすべて網羅できればと考え、活動をされている方には「情報があつたら何でも持ってきて」と声をかけていますし、イベントのチケットなども扱っています。障害者施設の商品にしても、こういった商品があることを知らない人が多いですから、少しでも知ってもらえれば、ここなら気軽に手にとってもらえるし、どんな商品が欲しいのかというお話も聞けます。私たちはお客さんのアドバイスを施設の方たちに伝える仲介者になりたいのです。作っている方たちも施設の商品だから売れるのではなく、価値があるから売れる物を作りたいんです。

……でも、「麦」の案内看板やチラシのどこにも「高齢者や障害者のために」とは書いてありませんね？

入口は段差もなく広く、車いすの方や足がご不自由な方々大歓迎！です。そして、ボランティアの方も、元気印の女性も、若い方、お年を召した方…。こだわらず、誰もが気軽に利用できる場にしたいというのがポリシーです。それに、ここを始めて改めて思ったのですが、障害を持っている方や高齢の方はお一人ではなかなか来られません。誰かが一緒でないと来ていただけない。そのために、ここがあるとこのことを知っていただきたいです。

みんなのいいの場として、時間や周囲を気にせず、 ゆっくり過ごせる場所として提供できれば

……そのための広告などはされていますか？

地域にチラシをまいたり、イベントなどを開催しています。この8月から、地域の皆さんに参加していただきたいと第4金曜日に懐かしい歌を歌う会というのを始めました。先生をお招きして、みんなで楽しく歌うんですよ。また、8月4日にはコンサートも行いました。地域で活躍されている女性4人がボランティアで演奏してくださって、たくさんの方が楽しんでいただけたと思います。コンサートをやりたいという申し出はいつでもお話をうかがいたいと思います。場所が空いている時はぜひお願いしたいです。

……お客さんの数は？

少ない日で10人、多ければ30人くらいになることもあります。常連さんもいますし、時には社会福祉協議会や市役所の方が顔を出してくれることもあります。仕事を離れて、一市民として来てはいろいろなお話を楽しんでいけますよ。ボランティア関係の人もよく顔を出してくれますので、横同士の連携は取りやすいのではないのでしょうか。ここでイベントの準備会を開くこともありますよ。

……はなの会とは無関係なのですか？

この建物は隣にある「北さん家」というグループホームが、看護婦さんやヘルパーさんの住居と駐車場確保のために借りられたものです。たまたま、以前カラオケ喫茶として利用されていた1階の店舗部分が空いていたんです。それで北さんから「何か、いい形で使ってください」と、とても嬉しいお話をはなの会にいただきました。立ち上げのための資金は、少しですがはなの会から出ています。ただ、立ち上げるに際しているんな方に呼びかけをしました。その中で大きな力となったのが「すみれの会」です。これは鈴鹿市社会福祉協

議会で月に一度、高齢者の方40~50とボランティアと一緒に食事や体操、ゲームなどを行っている会なのですが、そのボランティアさんに声をかけたところ、何名かの方が参加してくれることになりました。その方々の力が無くては麦はやっていけませんから、麦ははなの会とすみれの会の合体といったところでしょうか。もちろん、それ以外にも様々な好意をあちこちからいただきました。ここで使っている机や椅子、ピアノ、冷蔵庫やレンジなどはほとんど地域の方にいただいたものです。あるリサイクルセンターの方からはたくさんの食器をいただいたり、椅子を破格の値段段でお譲りいただきました。ここは多くの善意の集まりが形になっている所なのです。

……運営資金はどうなっていますか？

普通の喫茶店と違って、コーヒーとケーキなどでもお安くお出ししていますので経費や材料費など差し引くと収益はほんお僅かです。現在はお家賃も北さん家のご好意に甘えています。また、毎月の電気代もほんの私たちの気持ちだけお支払いさせていただいています。でもいつか、もう少し先には家賃やせめてスタッフの交通費などはきちんと出せるようにしていきたいと思っています。

……スタッフのやり繰りは大変では？

3人1組で切り盛りしています。自分が入れる日には予定表に名前を書くというシステムで、だいたい2カ月前まで予定が決まっています。月のうち必ず2回は入ること！なんていう決まりはありません。あくまでも自主的に決めています。お客さんにも「手伝いたい」とおっしゃってくださる方もありますが、その時は「一度見学をして、これなら大丈夫と思ったら参加してね」と言っています。

……「麦」の活動は地域活動の拠点そのものですね。

そうであればいいなという希望は持っています。こういった感じの場所が大小、あちこちにできればいいですね。麦を見て、「これならできる」と、誰かが立ち上がってくださればと願っています。ここは一人が前に出て引っ張っていくのではなく、みんなで考えて前に進む場所。その分、何かやろうとする時に時間がかかりますが(笑)。人がたくさんいれば、違う意見が出てくるのは当然ですから、みんなで話し合って考えたい。私はどちらかと言えばパーツと走ってしまう性格なんですけど、そうすると「まあまあ」と押さえてくださるメンバーがいて、うまくいってるなと思います。

……これから、「麦」をどんな場に育てていきたいのですか？

みなさん、口には出さないけれど、なんとなく将来に不安を持っていらっしゃると思うんです。そんな方々が気軽に福祉の情報を得られる場になればいいですね。ここでみんなと話をすることで様々なサービスを知ったり、将来に関する心積もりができたり。「麦」に関わっていれば、なんとなく安心というようにね。最終的にはみんなのいいの場として、時間や周囲を気にせず、ゆっくりと過ごせる場所として提供できればと思っています。「麦」に来ていただくお客様や、地域の方々と一緒にいい知恵を出し合って育てていきたいと思っています。

いこいの家「麦」

住所/鈴鹿市南旭ヶ丘4丁目

Tel.0593-87-7828

渡辺照子さんはこの人を紹介します。

小西 部(こにし しとみ)さん

「本当に幅広い活動をされている方ですよ」と渡辺さんが教えてくださったのは小西部さん。ボランティア活動のほか、さまざまな分野の勉強会や講演会なども主催されているそうです。



「麦」の店内と扱っているグッズです。



お
ね
が
い

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。